

仙台厚生病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

通常の診療で得られた過去の診療情報や残存検体等を使用して行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得る代わりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開する事が必要とされています。また、研究結果を学会等で発表する事がありますが、個人を特定する情報は公開されません。

研究課題名	サーベイランス内視鏡にて発見された胃癌のリスク因子解析
当院の診療科・研究責任者	消化器内科・平澤 大
他の研究機関	
本研究の目的	早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)は低侵襲かつ根治が期待できる手技として全世界に普及しています。しかし、治療後に再度胃癌が発見されることがあります。また、胃癌の主な原因であるピロリ菌除菌後も発見される胃癌もあり、いかに早期で胃癌を発見して根治に結び付けるかが重要です。経過観察目的の上部消化管内視鏡検査で発見できた胃癌の特徴を明確にし、発見率向上に寄与する因子を調査することを目的とし、今後の内視鏡診療に繋げる研究です。
調査期間 研究期間	2017年2月から2019年10月まで 承認後から2021年3月31日まで
研究の方法（対象となる方）	2017年2月から2019年10月までに、当院で診療させていただいた方の調査を行います。対象となるのは当院でサーベイランス目的の上部消化管内視鏡検査を実施した（疾患に対して経過観察目的の内視鏡検査を受けた）患者さんが対象です。
研究の方法（利用する情報）	調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（背景：性別、年齢等の基本情報・診断・内視鏡検査画像・使用スコープ・鎮静の有無・病理画像など）のみです。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除致します。 (利用する情報に個人を特定する情報は一切含まれておりません。) 研究結果を学会等で発表する可能性がございますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用致しません。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	研究への利用を拒否する場合等の連絡先 【電話】 022-222-6181 【担当者】 消化器内科・医師 海野 修平
備考	